

科目名	金融リテラシーを高める—生活設計と金融の基礎知識 (英文科目名: Improving Financial Literacy)		学期	後期
副題			担当者	安孫子 勇一
講座番号	3009	単位数	2	他
				ゲスト・スピーカー

授業の目的と概要

サブプライム問題を契機として起きた世界金融危機（2008年）の反省から、G20 や OECD における国際的な議論の中で、金融リテラシーの向上が利用者保護や金融システムの安定を実現していく上で重要との認識が広がっています。日本でも、金融庁や金融広報中央委員会（事務局：日本銀行情報サービス局内）が大学等での金融リテラシー教育に力を入れています。

金融広報中央委員会が設置した金融経済教育推進会議の寄附講座「金融リテラシーを高める」が大学コンソーシアム大阪の「センター科目」として開講されるようになって、今年度で7年目になります。講師は、金融庁、日本FP協会、全国銀行協会、日本証券業協会、投資信託協会、生命保険文化センター、日本損害保険協会等の多くの金融の専門家が登壇して下さり、生活設計や金融の基本について学んでいきます。

授業の到達目標

本講座では、幅広い金融分野の専門家（ゲスト・スピーカー）の協力を仰ぎ、受講者の金融リテラシーの向上を目指します。様々な金融商品の特性について、より深く理解することもできます。

人生では、どうしても避けられない、費用が高額なイベントが発生します（教育、住宅、老後など）。それらに備えて、人生の資金計画をどう描き、若いころから資産形成をどう進めていけばよいのでしょうか。この講義は、皆さんの今後数十年の人生における金融面の羅針盤として活用できることを目指します。たとえば、就職先によっては、社会人第1日目から、企業年金の運用先（株や投信、債券等）の選択を迫られますが、この講義で考える道筋が理解できるでしょう。

教科書・参考文献

テキストは指定しません。レジュメ、資料等を必要に応じ、Google Classroomに掲載します。

成績評価の方法と基準

定期試験（出席率2/3以上の学生のみ採点対象） 80% … 期限内に少しでも遅れた人は出席とみなしません
 ライフプラン見直しワークシート（第6回講義課題） 20% … 期限内に少しでも遅れた人は提出とみなしません
 その他授業への貢献には加点することがあります。

授業計画

	日付	授業内容	当日までの課題
1	9月22日（金）	導入—金融経済教育の重要性	
2	9月29日（金）	人生とお金	
3	10月6日（金）	お金を稼ぐ	
4	10月13日（金）	お金と経済	
5	10月20日（金）	ライフプランを描く①	
6	10月27日（金）	ライフプランを描く②	
7	11月10日（金）	お金を借りる①	
8	11月17日（金）	お金を借りる②	
9	11月24日（金）	お金をふやす①	
10	12月1日（金）	お金をふやす②	
11	12月8日（金）	リスクに備える①	
12	12月15日（金）	リスクに備える②	
13	12月22日（金）	トラブルに強くなる	
14	1月12日（金）	ライフプランを描く③	
15	1月19日（金）	全体総括	
16	1月26日（金） ※18:00-19:00のリアルタイム 実施	定期試験	

備考

【講義スケジュールについて】

ゲスト・スピーカーの都合により、内容や順番が変更されることがあります。

【開講日時】9月22日（金）～1月26日（金）毎週金曜日17:45～19:15

※ただし、12月29日、1月5日は除く。

【講義資料】大学コンソーシアム大阪が提供する Google Classroom に必要な資料を掲載します。

受講生にはクラスに参加するためのクラスコードをお知らせします。